

県道秋里吉方線 鳥取大橋東詰北交差点（仮称）通行規制実験 結果概要

1. 通行規制実験の目的と内容

目的	・鳥取大橋東詰北交差点（仮称）では、朝ピーク時に国道9号鳥取大橋を越えて混雑が発生する状況が続いている。この混雑を緩和し、より円滑で安全に通行できる交差点整備検討の参考とするため、通行規制実験を行いました。
内容	・市道江津浜坂線から国道9号方面への直進を通行禁止とする通行規制
方法	・交差点の対象方向にバリケード等を設置、路面表示で進行方向を誘導 ・周辺交差点に迂回案内看板を設置
期間	・令和7年9月3日（水）6:00～9月13日（土）6:00（10日間）

2. 通行規制実験の概要



通行規制実験の様子



3. 通行規制実験の結果

- 通行規制により、国道9号から鳥取環状道路に向かう車の流れがスムーズになり、朝ピーク時における滞留車列の長さが310m（40%）短くなりました。
- その他の方向や周辺の交差点では大きな混雑悪化は見られませんでした。

国道9号からの滞留長：【規制前】770m ⇒ 【規制中】460m（40%短縮）

